東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリーテーマ

ロータリーを
実践し
みんなに
豊かな人生を

Vol.47　第2275回例会　2013.8.22

今年度会長テーマ　話と和で輪を広げ　ロータリーをもっと身近に

■司会：
荻野例会運営
副委員長

■点鐘：野村会長

■合唱：ロータリーソング
「それでこそロータリー」

◆ソングリーダー：
北久保会員

■会長報告　野村会長

インターアクト年次大会に参加して

今月の4日(日)に浅草ビューホテル4階において、2013～2014年度第50回インターアクト年次大会が開催され、参加してまいりました。石川ＰＧ、吉田Ｇ、鈴木ノミニーをお迎えして、とても上手な女子高生の司会で始まり、和気藹々とした発表がありました。

活動報告は、全国から12のインターアクト・クラブ活動をしている高校が、会場に参加していて各校から力強い発表がありました。沖縄からは5校も参加していました。後程大会プログラムを回覧いたしますが、皆さんもご存知の通り、インターアクト・クラブは、奉仕と国際理解に貢献する世界的友好精神の中で、共に活動する機会を青少年に与える為に結成されています。入会資格は12歳から18歳までの若人です。高校生は全員自分の高校の制服に身を包み緊張の中にもお互いリラックスしているように見えました。どこの高校生も皆例外なく必死の形相の中にも笑いがあるような発表でした。

当日の記念講演は、社団法人宮古観光協会の学ぶ防災ガイド、元田久美子さんが約1時間に渡って、ご自分の体験を基に、実に生々しい実体験と現在の状況を涙声で語り部として話してくださいました。先程の大会プログラムと一緒に回覧しています「田老」という冊子をご覧になってください。田老観光ホテル跡で現在も上映しているフィルムがあるそうで、このフィルムは報道その他では一切放映されていないものだそうで、ホテルの社長が必死の思いで撮ったものだそうです。迫力があって圧倒されるそうです。非常に有意義な一日でした。

■幹事報告　石山幹事

■(公)ロータリー日本財団：
ベネファクター認証状と記章の受理
石山敬会員へ

■米山奨学委員会：
・米山梅吉記念館バスツアー参加御礼と写真データの受理
・地区米山奨学委員会の案内について
2013年9月6日(金)及び9月27日(金)
於　ガバナー事務所　13:00～

■例会日／毎週木曜日 12:30～13:30
■例会場／八坂神社 社務所
〒189-0013 東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／田中　重義
■事務所／〒189-0013
東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL 042-393-7500　FAX 042-395-1166

・カウンセラー・奨学生セミナー三者懇談会の案内の受理(訂正版)
2013年10月31日(木)　13:45～
於　京王プラザホテル
　　セミナー会場　42階「富士」に訂正

■社会奉仕委員会：
地区社会奉仕委員会開催の案内の受理
9月17日(火)　15:00～
於　ガバナー事務所

■東京田無けやきＲＣ：
地区協議会報告書の受理

■ガバナー事務所：
ガバナー月信8月号訂正について

■(一財)バギオ基金：
第5回定時評議員会の開催について
2013年9月24日(火)　17:00～
於　弘済会館

■東村山市体育協会：
・第50回東村山市民体育大会開催の案内の受理
2013年9月1日(日)　9:00～
於　東村山市市民スポーツセンター

・スポーツ祭東京2013(第68回国体)東村山市炬火採火式の案内
上記市民体育大会開催式後の午前10時30分～

・第68回国民体育大会バスケットボール競技会競技会役員の委嘱状の受理

■国際ロータリーＲＩ事務局：
公式役員・クラブ名簿ＣＤの受理
(注：個人名簿記載の全日本ロータリークラブ会員名簿は、個人情報等の都合により2006年度以降作成されておりません)

■東村山市緑を守る市民協議会：
全生園緑化活動への協力のお願いについて
2013年9月29日(日)　9:00～
於　全生園　草取り及び清掃片付け

■委嘱状伝達

■インターアクト委員会
委員：
飯田会員受理

■ベネファクター：
石山幹事受理

■第68回国民体育大会
バスケットボール競技会
競技会役員：
野村会長受理

■出席報告　清水例会運営委員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
30	22	0	4	85.19

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：2名
■前々回出席率メークアップ修正後：92.86％
■前々会メークアップ者：
飯田会員：地区ＩＡ委員会
野崎会員：地区米山奨学委員会
當麻会員：東京東大和ＲＣ
山宮会員：東京立川ＲＣ

■ニコニコＢＯＸ　野村(裕)クラブ管理委員

◆野村会長・石山幹事：
暑い日が続いていますが皆さんくれぐれも体調など崩さないようお気を付け下さい。北久保さん本日のイニシエーションスピーチ楽しみにしております。
◆相羽会員：北久保さん、本日はイニシエーションスピーチ楽しみにしています。
◆中丸会員：北久保さん、本日はイニシエーションスピーチ楽しみにしています。
◆野村会員：先日の炉辺会合、大変勉強になりました。野澤会員はじめ諸先輩会員にお礼申し上げます。お世話になりありがとうございました。
◆田中会員：先日の炉辺会合、大変勉強になりました。野澤会員はじめ諸先輩会員にお礼申し上げます。お世話になりありがとうございました。

◆嶋田会員：北久保さん、今日の卓話期待しています。
◆戸澤会員：北久保さん、イニシエーションスピーチ楽しみに聞かせて頂きます。
◆荻野会員：北久保隆一会員、卓話楽しみです。
◆樺澤会員：先週の田中会員のニコニコ恐縮です。ＲＩ会長のカルヤン・バネルジーのお話を紹介しただけですのに。
◆北久保会員：
8月11日のむさしの幼稚園での研修では大変お世話になりました。野澤さんほかの方々にご指導いただきました。ありがとうございました。又、本日はイニシエーションスピーチです。皆さんよろしくお願い致します。
◆野澤会員：北久保会員のイニシエーションスピーチ楽しみにしています。帰りに美味しいコーヒー飲みましょう。過日の分区連絡会のホストも無事終わりました。

本日のニコニコ合計：　32,374円
累　　計　：　367,574円

■委員長報告

■野澤職業奉仕委員長

みなさんこんにちは。今、多くの方からニコニコに入れて頂きましたけれども、去る11日に会員研修と職業奉仕合同で行いました、第一回の炉辺会合研修会、新人研修会がおかげさまで無事に終了いたしました。
当初予定しました　北久保会員、清水会員、荻野会員、野村会員、中條会員、石山会員、田中会員、7名全員出席をいたしました。
そして、アドバイザーと致しまして、飯田会員、嶋田会員、戸澤会員、隅屋会員にも出席をいただき素晴らしいアドバイスをいただきました。改めて御礼を申し上げます。
なお、第二回目は、また小町会員研修委員長と相談しまして、できれば前期中にいよいよ今度は職業奉仕についての中身に入っていきたいと思っています。勉強会をいたしたいと思っていますので、よろしくお願いします。
それからもう一点、歩こう会からもご報告ですが、去る九日に相羽会員と行いました。大変暑い日でしたけども、4時間たっぷり歩いてきました。こないだお話ししましたように、前回の御嶽は何人の方からは、歩きに来たのか宴会に来たのか、わからないと言われましたので、今回はたっぷり歩こうじゃないかということで、大変厳しい暑さでしたけども、武蔵大和駅前を、7時に出発いたしまして、多摩湖遊歩道を限りなく歩こうか、それとも途中で寄り道をして、勉強会をしようかということで、第二案の方に行きまして、小金井公園から小平の彫刻家の平櫛田中という記念館がありまして、そこに到達するコースを歩いてみました。ちょうど見学時間を含めて4時間ぐらいでした。なお、終わって駅前で、生ビールを飲んだことが大変うれしかったです。当日はそれが出来るかどうかわかりませんが、実はまだ残暑が厳しいですので、できましたらもう少し先に延ばして、計画したいと思いますので、よろしくお願いします。

■相羽国際奉仕委員長

国際奉仕委員会、第一回炉辺会合のご案内です。
猛暑の毎日が続いておりますが、2013-2014年度が始まり早2ヶ月が過ぎようとしております。今年度、活動方針の事業計画に掲げた
1.発展途上国のカンボジアの子供たちが健康に育つように、きれいな水のプレゼントの為に前期後期に分け4ヶ所の地域に井戸を掘る費用を「1ヶ所25000円×4＝100000円」寄付金について
2.国際大会参加について。オーストラリアにて開催されます、オン・ツー・シドニーへの参加を多数の皆様にお願いし、楽しい国際大会を企画の為、皆様よりご意見を頂きたくご案内申し上げます。
議題について
1.第2580地区より活動費の助成資金の件
2.観光会社ＪＴＢに長年にわたりツアーを企画していただいて来ましたが、参加費用が高額とのご意見もあり、今年度は他社との見積りも検討して行きたいと思っており皆様のご意見をお伺いし企画して参りたいと思います。
3.多摩分区の方々との合同参加についてと、連絡方法について
以上の件で意見交換をお願いいたします。
日時：2013年9月11日　18:30～
場所：たきび

■田中クラブ管理委員長

8/24(土)夏の夜間親睦花火例会が、いよいよ明後日になりました。お忙しい中、大勢の皆様にご参加いただき、心より御礼申し上げます。天気を一番心配していましたが、予報は晴れ時々曇りと大丈夫みたいです。熱い思いが通じたのかと思います。当初30名を予定していましたが今日の時点で45名の参加を頂いています。席は8テーブルと聞いていますので、もし座れなかったら会長をはじめ役員は立ったままで盛り上げてください。東村山ＲＣ、また地域の発展の為、心頂き改めて御礼申し上げます。6時点鐘ですので遅れないようお願いします。例会運営、クラブ管理の皆様は早めに会場に来てください。

■卓話

■卓話者紹介：
村越プログラム委員長

みなさまこんにちは。今日は北久保会員のとっても楽しい卓話がございます。36才の時に毎週日曜日3ヶ月12回お見合いをした、とお話がございます。みんな胸の中にはやってみたいと思っても、なかなかできないことじゃないかと思います。そういうような勇気のあった、決断力のあった北久保会員のお話をゆっくりお聞きいただきたいなと思ってます。どうか盛大な拍手でよろしくお願いします。

■北久保隆一会員

皆さんこんにちは。北久保隆一です。「私の履歴書」というタイトルでお話させて頂きます。

先月、村越プログラム委員長から強いご所望がございましたので、私の見合い結婚のお話をさせて頂きます。しかし、結婚の話だけですと、10分もあれば終わってしまいますので、生い立ちからお話をさせて頂きます。しばらくお付き合い下さい。

1948年7月27日生まれ。調べたら金曜日の生まれでした。東村山町中之通り1395番地に生を受けました。現在の本町2丁目8の2です。北久保家の長男です。八代目として生まれました。地元の化成小学校から、創立三年目の東村山町立第二中学校へ進みました。初恋は化成小学校五年生の時、机で隣に並んだ當麻素子ちゃんです。彼女をご存知の方もおありだと思いますが、私はずっと会っておりません。良いイメージが変わってしまうので、初恋の人にはお互い会わない方が良いのかもしれません。その後、東村山が町から市に変わった年、昭和39年、東京オリンピックの年に高校入学。國學院大學久我山高校です。その久我山では、「とん八」の土方二三夫さん、佐藤不動産の佐藤勉さんと同学年です。

久我山での三年間は、クラブ活動中心の生活でした。放送部です。放送というとディレクターやカメラマンや技術者などの様々な仕事を思い浮かべますが、当時放送と言えばイコール、アナウンサーを意味していました。私の一年上の先輩で安藤という人がいました。彼は「安藤アナウンサー三兄弟」で有名なアナウンサー一家の四男でした。私を可愛がってくれました。その先輩は鉄道研究会にも籍を置いていました。更にジャズが好きでした。その影響で私はすっかりジャズのファンになりました。特にダンモといわれたモダンジャズです。ＭＪＱやオスカー・ピーターソンが好きです。また、たまたま横浜で入ったライブハウスで知り合った吉澤紀子という女性ジャズ歌手の追っかけを10年以上やっています。今年も二回ライブに行きました。入院中には、お見舞いにも来てくれる心優しいチャーミングな女性です。

さて、放送部は活動が活発でした。デンスケと呼ばれる8キロもある重い録音機を肩に下げて色々な音を収録し作品にしました。録音構成です。貴重な録音がありましたので、48年前の私の声をお聞かせしたいと思います。場所は東京駅。「伊勢志摩」に向かう修学旅行の出発の場面です。

昭和40年11月23日より、11月30日までＡ班Ｂ班に別れて修学旅行が行われた。紀伊半島を中心にその記録をここに音で綴ってみた。（録音終了）

このような作品を手作りで沢山制作していました。この時代にＮＨＫのコンテストに出していたら、良い成績を貰っていたことだろうと自負しています。

大学は國學院大學。文学部でした。また、クラブ活動はアナウンス研究会に所属しました。楽しい世年間でした。その時の仲間とは、今でも12人、全国から集まる同期会を数年間隔で開催しています。クラブの顧問の先生は「梅干と日本刀」などの著書のある樋口清之先生。文化人類学の世界的な権威の方でした。文学部でしたので、英文学は吉田茂首相のご長男吉田健一客員教授に教えて頂きました。あの金田一京助名誉教授からも、「ユーカリの研究」の記念講演を受けることが出来た良い想い出があります。

大学卒業の時、悩みがありました。地方の放送局に就職しても、定年後にはまた東村山に戻ってきて、親の残した家や土地を守らなくてはいけない。長男として生を受けた宿命と闘う悩みでした。それなら、仕事は東京に居ても喋れる仕事をなんとか探したいと思っていました。たまたま、当時まだ名前が知られていなかった設立されたばかりの財団法人日本道路交通情報センターを受験。幸い東京で採用されました。ほぼ同じ頃受験した人は、名古屋や福岡の配属になってしまいました。私は運が良かったのです。そして42年間、東京でテレビ、ラジオ、電話案内を担当。ドライバーの方に一生懸命情報を届けました。朝の通勤のドライバーに情報を伝えるため、朝は4時に起きる生活が続きました。道路交通情報のアナウンスの魅力は「生放送」、「メモだけでアドリブの放送」、「指定され短い持ち時間内で情報を分かり易く、丁寧に、親切に伝達する」ことです。今から9年前の放送ですが、現役当時の録音が有りましたのでお聞きください。

局アナ
「時刻は2時32分です。それではここで30分に1回のニッポン放送夏休み交通情報です。この時間は、三井住友ビザカードがお送りしています。」

テリー伊藤
「一日まるごと交通情報パーソナリティーの北久保隆一さ～ん。」

北久保
「はい。お伝えします。Ｕターンの車の混雑。特に東北道上りでは、3ヶ所で20キロを超える渋滞になっています。宮城県の大和インター25キロ、蔵王パーキングエリア13キロ、福島県に入って福島トンネル断続的に28キロ、栃木県の西那須野塩原20キロ、そして矢板インター6キロ半の渋滞です。新潟方面からの関越道上り、塩沢石打、故障車で4キロ。さらに群馬県渋川伊香保3キロ、前橋4キロ、埼玉県花園インター7キロ、新座料金所も7キロの渋滞です。東名高速上り静岡インター付近事故で2キロ、大和トンネルでも事故が発生し3キロの渋滞。中央道、今、諏訪インター出口上り10キロ、今夜花火大会です。首都高速。全般的に交通量が多くなっていますが、特に、中央環状線外回り小菅ジャン

クション、乗用車同士の事故で川口線上り鹿浜橋まで渋滞。今、新井宿から小菅ジャンクションを抜けるまで一時間です。入口の閉鎖はありません。道路交通情報センターからお伝えしました。」

局アナ
「北久保さん、こんなメールが届いているんですよ。横浜市のもと子さん33歳の方から。今、国道246号線を車で走っています。彼の運転なのですが、まあ混んでいること。まだ昼も食べていません。246周辺どうなっていますか？」

北久保
「246もあちこち混んでいるんですね。特に、神奈川県内もそうですが、都内側も世田谷区内、上馬ですとか、池尻、そして渋谷駅前。1キロ以上ず～っと混んでいまして、もう、上も混んでいますから、下も交通量が溢れて来ている状況ですね。」

テリー伊藤
「抜け道なんか通ると危ないですからね。」

北久保
「どこかで早めに召し上がった方がよろしいですね。」

局アナ
「因みに北久保さんはお昼食べました？」

北久保
「ええ。戴きましたよ。」

テリー伊藤
「何を食べたんですか？」

北久保
「ええ。お弁当ですよ。え～、近くのコンビニで。」

テリー伊藤
「意外と地味ですね。」

北久保
「地味ですから。」

局アナ
「北久保さんでした。」(録音終了)

声は年を取っても変わらない。と、言う人もおりますが私の場合明らかに変わりました。この現場の情報を伝達する仕事から一転、管理職になった2003年。仕事のストレスで病気になりました。心不全、脳梗塞、それに直腸癌。大変でした。しかし神様は救ってくださいました。病気から学んだことについては、以前この会合で少しお話させて頂きました。

ところで、ここで突然ですが、ひとつ朗読をさせて頂きます。清水さん、申し訳ありませんが雰囲気を出すため、会場の照明を落として暗くしてください。よろしくお願いします。そして皆様、申し訳ありませんが、目を閉じて耳をすませて頂ければ幸いです。

川端康成原作「雪国」。朗読は北久保隆一です。

国境の長いトンネルを抜けると、雪国であった。夜の底が白くなった。信号所に汽車が停まった。向かい側の座席から娘が立ってきて、島村の前のガラス窓を落とした。雪の冷気が流れ込んだ。娘は、窓いっぱいに乗り出して遠くへ叫ぶように、「駅長さ～ん。」「駅長さ～ん。」明かりを下げてゆっくり雪を踏んで歩いてきた男は、襟巻きで鼻の上まで包み、耳に帽子の毛皮を垂れていた。「もうそんな寒さか」と、島村は外を眺めると、鉄道の官舎らしいバラックが山裾に寒々と散らばっているだけで、雪の色は、そこまで行かぬうちに闇にのまれていた。「駅長さん。わたくしです。ご機嫌よろしゅうございます。」「ああ、葉子さんじゃあないか。今、お帰りかい。また、寒くなったよ。」

川端康成の雪国の冒頭の1ページです。
照明を明るくして下さい。ありがとうございました。皆様如何でしたか？

それでは、いよいよ問題の結婚のお話をさせて頂きます。

お見合い結婚でした。前の妻が通ってお世話になっていた「長沼静きもの学院所沢校」の小林紀子という先生から、私の自宅に電話があったのがきっかけです。この小林ご夫妻とは一度お会いしていました。

当時私は36歳。A型急性肝炎で二ヶ月間入院。退院して自宅で療養していた時でした。一度しか会ったことのない小林さんの奥様から電話がありました。
「お元気？」
「元気になったけど、こういう訳で一人ですよ。」と言ったら、
「駄目よ。結婚しなさい。」と言われました。
「そんなことを言ったって、相手がいません。」と言ったら、
「任せなさい。なんとかします。」
小林さんは姉さん女房、自分より年下の旦那に何とか一組だけでも仲人をさせて男として職場の仕事に役に立たせたいと思っていたのでした。嬉しいことに、私はそのターゲットになったのです。ですからそれ以来、毎週日曜日はお見合いでした。着付け教室の生徒さんなどを紹介してくださいました。

今でも鮮明に覚えている最初のお見合いは、大変緊張しました。新宿のあるホテルの広いティーラウンジでした。恥ずかしいので下を向いたまま、小林ご夫妻の後ろから床の絨毯だけを見つめながらついて行きました。そして、大きいソファーに座って初めてゆっくりと顔を上げました。相手の女性がニコニコしていました。この瞬間、この話は「相手から断られる。」と感じました。実際、その通りになりました。それ以降、小林ご夫妻から次々と見合いの話が来ました。色々な方がいらっしゃいました。年齢でいうなら、私よりも14歳も下の可愛い女性から、上は6歳も年上の煙草をプカプカ吹かす、少しドスのきいた声の女性。私は、当時36歳でしたから、22歳の可愛い女性。こんなことがあるのか？毎回楽しみでした。

そのお見合いは、毎回「目を合わせた瞬間に勝負が決まりました。」
「今回は私から断る。」「今度は相手から断られる。」
お見合いとは、昔の侍の真剣勝負のように、ひと目合ったその瞬間に勝負がつくものだと思いました。とにかく、僅か3ヶ月の間に12回の見合いをしました。ほぼ毎週日曜日はお見合いでした。一日で二回見合いをしたことも有りました。そんな時は、さすがに心が咎めました。午前中にお会いした女性に返事をしないままで次のお見合いをしては、お相手に失礼ですし、私自身心の整理が出来ませんでした。失礼をしたものでした。

問題の12回目は今の家内です。お見合いの前の晩に、親父からひとこと言われました。「見合いしてるみてーだけど、謙虚になんなくちゃダメだんべぇ。」 そして、それまでよりも謙虚な心で臨みました。彼女にあった瞬間、これまで「一瞬で分かった結論」全く出なかったのです。

それもそのはずです。彼女に届けた履歴書の写真は、手持ちの写真がすっかり無くなってしまったので、やむを得ずその数年前に撮影したものでした。しかも、結婚披露宴のプロ司会者用のパンフレット作成のために2万円もかけた写真でした。本格的なスタジオでかなりライトを当てて綺麗に修正してありました。そんな

写真を貼り付けていたのです。どうみても実物とは違いました。
　さらに、こちらは男三人が横一列に並んでいたので、彼女はいったいどの人と見合いをするのか？すぐには分からなかったようです。だから、私もピントが全く合わなかったのです。何とも言えない気持ちのまま、二人だけになって高田馬場の駅前にある、当時「大正セントラルホテル」という名前のホテルのレストランで食事をしながら話すことにしました。私はバツイチ。もう失うものは何もありません。軽くお酒を呑みながら気軽に話をしました。貰っている年収のこと。仕事のこと。趣味のこと。持ちたい家庭のこと。「仕事が大好きです。ゴルフも大好きです。夏は風呂上りにステテコ一枚でビールを飲んでソファーに寝ちゃいますよ。」「父も同じです。」それじゃあ気が楽だと感じました。
　さて、ここからが問題です。数日後、先方からもう一度会っても良いと言っていると、小林の奥様から電話がありました。嬉しかったです。もちろん、こちらはＯＫ。さっそく日取りを決めました。そこで私は考えました。どうせ会うなら楽しくしよう。そう決めた私は、職場に女性が沢山いるので、数人に相談しました。女性はこういう話は大好きとみえて、様々な意見や案を出してくれました。ああじゃない、こうじゃないと、ワイワイガヤガヤうるさいくらいでした。そのうち、離婚歴のある年上の女性、文化放送の深夜放送のディスクジョッキーもしていた玲子ママのニックネームで有名な美川玲子さんが、きめ細かい案を出してくれました。それを採用させて頂くことにして、このような計画にしました。
　それはまず、相手の好きな音楽を聞く。それをダビングして用意しておく。いざという時、その音楽を聴かせる。ムードを大切にしなさい、とうことなんです。先方のお宅に電話をかけて聞いたら「加山雄三」が好きということが分かりました。この時、実家の方には変な人だと思われたかもしれません。
　そしてドライブの当日。東村山駅の改札口で待ち合わせ。車に案内。ドアを開けました。助手席にはその日のスケジュールが書いてあるメモを置きました。そのメモ用紙は、たまたま数日前の結婚披露宴の料理のメニューが書いてある裏側を利用しました。だから、彼女が何て言うのか楽しみでした。結婚披露宴のお料理は美味しかったのなんて言われたら嫌でした。少し待っていても、何にも言わないので、仕方なくシートベルトをしてエンジンをかけて車を発進させようとしたその時、「これ、戴いてもよろしいですか？」と、言いました。
　直ぐには反応しないが、なかなか包容力のある女性なのだと感じました。
　スケジュールに沿って、東名高速海老名ＳＡでお茶。その後、熱海の錦が浦の「にしき亭」で昼食。ホテルニュー赤尾の別館です。目の前に太平洋の広い海を臨むレストラン。新鮮な海の幸。日本料理に二人とも満足しました。食後、高さ60メートルの断崖絶壁の崖に張り付くように、海面近くまでつづら折りに降りていける階段をゆっくりゆっくり降りて行きました。綺麗な碧い海の色に感動しました。帰りの登りの階段は、私が左腕を曲げて促すと、彼女は素直に右腕を組んできました。全く自然の成り行きでした。
　そのあと、横浜まで湘南海岸をドライブ。熱海から横浜に向かう車の進行方向右側から午後の眩しい西陽をイッパイに浴びました。そうだ、この時だ。と思い、例のダビングしてきた加山雄三の曲を流しました。「君といつまでも」です。
　「二人を夕闇が包むこの窓辺に～」「幸せだなぁ。僕は死ぬまで君を離さない。良いだろう。」
　やっぱり効果があったようです。彼女はリラックスして心なしかニコニコしてきました。その後、横浜のホテルの最上階で夕食。今度は奮発してフランス料理のフルコース。かなり値が張りましたが、男はじっと我慢です。山下公園を歩いている時、私は突然「結婚してください。」と、口走ってしまいました。余りにも良い雰囲気に負けたのです。
　ジャズクラブに行きました。しばらく、雰囲気を楽しんだ後、自宅まで送る最終行程に入りました。横浜から新座市の実家まで送るのですが、第三京浜上り線から、環八通り外回りに出て少し進んだところの、砧公園交差点の赤信号で停車したとき、「さっき、正式にプロポーズをしました。私は仕事が忙しいので、いつ頃返事をもらえるか教えてもらえますか？」と、言いました。私は職場で隠れせっかちと言われていました。
　彼女は、また暫く考えていました。私は、いつ頃返事をもらえるか？と聞いたのです。だから、何日くらい後という返事を待っていました。例えば一週間とか、十日とか。信号が青に変わって走り出しました。彼女はかなり考えた後、口を開きました。「じゃあ、いいです。」と、言いました。
　はっきり言うと、「じゃあ」という言葉が付いていました。「と、言うことは結婚しても良いという事ですか？」と聞くと、「そうです。」と言うのです。俄然嬉しくなりました。やった、やった、という感じでした。
　そこで私は、今の嬉しい気持ちを表現したい、と言いました。初めて送るので、実家が近くなったら教えて下さいとも言いました。
　倉庫の広い駐車場に車を停めて、エンジンを切りました。少し薄暗いところでした。助手席にいる彼女のほうに身体を寄せて、左手で優しく髪を撫でました。右手で彼女の顎を少し持ち上げ、軽く口づけをしました。フレンチキスです。
　そして、その当時練習していた「マイウェイ」の日本語版の歌をアカペラで、車内いっぱいに歌い上げました。「いま～船出が近づくこの時に、ふと佇み、私は振り返る、遠く旅して歩いた若い日を。すべては心の決めたままに～」彼女は、笑わずに聴いてくれました。
　次の日。この話を職場に報告しました。皆に笑われました。しかも大笑い。職場中に知られてしまいました。
　その後、結婚する女性職員から、結婚披露宴の招待状が届きました。新婦側の来賓です。そこに、ひとことお願いしますではなく、「マイウェイ」を歌って下さい。と書いてありました。それ以来、職場の披露宴には、これまでの祝辞の依頼ではなく、マイウェイの披露の依頼状が入っていました。職場の結婚披露宴は、その後二十数件、全て「マイウェイ」の依頼状でした。
　我々は、小林ご夫妻のお陰で良いご縁で結婚が出来ました。大変ありがたいとおもっています。男の子二人の子供にも恵まれました。今、本当に気楽に楽しく幸せに暮らしています。妻に心から感謝しています。
　その家内も先月、元気に65歳の誕生日を迎えました。ロータリークラブから贈られた花束に感激していました。そして、皆様とこうして良いご縁を戴きました。本当にありがとうございました。
　私のイニシエーション･スピーチは以上です。皆様、ご清聴感謝致します。ありがとうございました。

■閉会点鐘：野村会長